

作成日：2015/12/11

改定日：2025/04/01 (第6版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	アルテコ F-30 (硬化剤)
供給者の会社名	株式会社アルテコ
住所	滋賀県湖南市岩根136-87
担当部門	品質管理部
電話番号	0748-75-3901
ファクシミリ番号	0748-75-1804
電子メールアドレス	hinkan@alteco.co.jp

使用用途及び使用上の制限 : 2液混合型接着剤。硬化剤単独では接着不可。
指定の比率で主剤と混合して使用すること。

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

健康に対する有害性

急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
皮膚感作性	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(中枢神経系、血液系、呼吸器系、腎臓)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分3
水生環境有害性 長期(慢性)	区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類できない、区分に該当しない。

【GHSラベル要素】

絵表示またはシンボル

腐食性、感嘆符、健康有害性



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(H314)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)
重篤な眼の損傷(H318)
吸入すると有害(H332)
中枢神経系、血液系、腎臓、呼吸器系の障害のおそれ(H371)
水生生物に有害(H402)
長期継続的影響によって水生生物に有害(H412)

注意書き

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋(ポリエチレン製)/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)
皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。(P302+P352)
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。(P303+P361+P353)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
直ちに医師に連絡すること。(P310)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

特別な処置が必要である（パッケージ記載の注意書きをよく読み、理解するまで取り扱わないこと）。(P321)

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
(P333+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)。

施錠して保管すること。(P405)

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : エポキシ樹脂系2液型接着剤

	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	CAS RN®
① 変性ポリチオール (PRTR 法、労安法、毒劇法に該当しない)	70～80	非公開	非公開
② エチレングリコール (労安法該当)	1～10	(2)-230	107-21-1
③ 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール (労安法該当)	1～10	(3)-714	90-72-2
④ シリカ (PRTR 法、労安法、毒劇法に該当しない)	10～20	非公開	非公開
⑤ 酢酸 (労安法該当)	1～5	(2)-688	64-19-7

この組成の正確な含有量や成分名等は、営業上の秘密に該当するため、非公開としています。

4. 応急処置

吸入した場合 : 主剤との混合物の蒸気を含め、温度上昇時に生じる蒸気を吸入して、かゆみなどの異常が生じた場合は、すみやかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、中性石けんでよく洗う。かゆみや炎症などの症状が出た場合は、すみやかに医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 多量の水でよく洗う。痛みなどの異常がある場合は、ただちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 安静にして医師の診断を受けること。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項 : ばく露しないように適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 一般的な処置及び症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末、二酸化炭素(ABC型)

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

特有の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防処置 : 消火作業の際には保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。

環境に対する注意事項 : 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。
- ・多量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、漏出した物をすくい取り、空容器に回収し、密閉する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ：局所排気装置等を設け、通気の良い場所で作業する。
- 保護眼鏡、防毒マスク、不浸透性手袋等の保護具を着用する。
- 直接手で取り扱うような作業方法は絶対に避ける。
- 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

安全取扱い注意事項

- ：局所排気装置の設置、設備の密閉化又は、全体換気を適正に行う事が望ましい。

接触回避

- ：強酸、エポキシ樹脂化合物

保管

安全な保管条件

- ：容器を密閉し、直射日光の当たらない5～35℃の乾燥した場所で保管する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。

安全な容器包装材料

- ：容器は、破損、腐食、割れ等のないものを使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

- ：日本産業衛生学会 酢酸 10ppm 25mg/m³
ACGIH(2015年版) TLV-TWA 100mg/m³(エチレングリコール)

管理濃度

- ：設定されていない

設備対策

- ：混合、注入、塗布、接着工程などの作業場には、局所排気装置(加熱工程の蒸気発散源には、ブース式又は囲い式フード)を設置する。

保護具

呼吸用保護具

- ：防毒マスク。

手の保護具

- ：ゴム手袋など不浸透性の手袋を着用する。

眼、顔面の保護具

- ：側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ：長靴、前掛け、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

- ：グリース状

色

- ：淡黄色

臭い

- ：刺激臭

融点/凝固点

- ：知見なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

- ：知見なし

可燃性

- ：知見なし

爆発下限界および爆発上限界/

- ：知見なし

可燃限界

引火点

- ：250℃以上

自然発火点

- ：知見なし

分解温度

- ：知見なし

pH

- ：知見なし

動粘性率

- ：知見なし

溶解度(水)

- ：難溶解

オクタノール/水分配係数

- ：知見なし

蒸気圧

- ：知見なし

密度及び/又は相対密度

- ：知見なし

相対ガス密度

- ：知見なし

粒子特性

- ：知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性

- ：主剤との混合時に、急激な重合発熱反応をおこす可能性がある。

化学的安定性

- ：通常の実験においては安定。但し、高温・高湿な場所での取扱い・保管は避ける。

危険有害反応可能性

- ：強酸、エポキシ化合物と反応し、発熱する。

避けるべき条件

- ：高温加熱、混触危険物質との接触

混触危険物質

- ：強酸、エポキシ化合物

危険有害な分解生成物

- ：知見なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 知見なし
急性毒性(経皮)	: 知見なし
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 知見なし
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	: 区分4
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1
眼に対する重篤な損傷性/	: 区分1
眼刺激性	
呼吸器感作性	: 知見なし
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分2 (中枢神経系、血液系、呼吸器系、腎臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 知見なし
誤えん有害性	: 知見なし

(注) 知見なしは、NITEの混合物データベースより事業者判断

12. 環境影響情報

生体毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 区分3
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分3
残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 知見なし モントリオール議定書の付属書に列記された成分を含まない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、必須かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- ① 都道府県条例等に基づき焼却するか、又は、産業廃棄物として許可を受けた処理業者に委託する。使用済みのウエス等も同様である。
- ② 主剤と混合し、硬化させた物は、廃プラスチック類として許可を受けた処理業者に委託する。
- ③ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去しておく。

14. 輸送上の注意

国連分類	: クラス8
国連番号	: 3259 包装等級Ⅲ
注意事項	: 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。火性液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。
混載禁止	: 危険物第1類、第6類、及び高压ガス
国内規則	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

消防法

指定可燃物 合成樹脂類

安全衛生法

第57条の1 (施行令第18条) 名称等を表示すべき危険物及び有害物

エチレングリコール

酢酸

第57条の2 (施行令第18条の2) 名称等を通知すべき危険物及び有害物

エチレングリコール

酢酸

労働基準局長通達(基発第477号、S51年6月23日)

日本接着剤工業会自主規制	JAIA 001013	F☆☆☆☆
	JAIA 502994	4VOC基準適合

- ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)GHS 分類判定ラベル/SDS 作成支援システム (VER3. 0. 21)
- ・ 接着剤の製品安全データシート作成の手引き (日本接着剤工業会)
- ・ 化学物質による健康障害を防止する為の手引き (日本化学工業協会)
- ・ 製品安全データシートの作成指針(改訂版) (日本規格協会)

- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。
- ・ この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正される事があります。
- ・ 以前に収得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄してください。